

アンケート結果（障害者の権利擁護・虐待防止について）

専門部会名称	平成 27 年度 鎌倉市自立支援協議会 権利擁護・相談支援部会作業部会
開催日時	平成 27 年 11 月 19 日(木) 17 時 15 分～19 時 15 分
開催場所	鎌倉市役所 本庁舎4階 402 会議室
自由記入アンケートに記載された意見と感想	<p>自立支援協議会委員からの回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援される側の苦勞を沢山聞かせてもらった。 ・引きこもり当事者の親亡き後を考えると訪問により家族と信頼関係を築き、当事者と関わっていくべき。 <p>障害福祉施設職員からの回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・固定観念や先入観を持たないこと、多角的な視点を持つことの大切さを痛感した。 ・コミュニケーションワークをとおして、一つの見方だけではなく、いろいろな見方をすることを支援者は必要があると感じた。 ・システムの実際と関連する事例を研修の内容として取り上げてほしい。 ・施設内と家庭内の各々で事例が上がるという。 ・「相手に伝えることの難しさ」や「自分が分かっているから大丈夫という思い」を今一度考える機会となった。 ・ディスカッションの時間をもう少し長く設けてほしい。 <p>相談支援専門員からの回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークを通して、障害者の立場を理解できた。 ・虐待について、いろいろな人の話を聞いて、参考になった。 ・図を用いての共通認識と固定観念を考える研修はとても分かりやすかった。 ・固定観念によって、本当の姿を見過ごしてしまう怖さを知った。 ・虐待は、奥が深く、再度話し合いをしたいと思います。 ・ロールプレイがとても分かりやすく、勉強になった。 ・「コミュニケーション」について考えさせられた。 ・協議会の部会と相談支援事業所とのコラボレーションができ、お互いの意見交換会をすることができた。 ・良いときの状態を何度でも振り返ることの重要性を知った。

- ・実際の話に沿っていて、分かりやすかった。
- ・いろいろな議論が出来た。
- ・活発な話しができて良かった。
- ・共通の問題に対し、様々な視点から協議が出来、成果が出たと思う。

行政職員

- ・一方通行のコミュニケーションがどういう結果を招くかを体験でき、よく分かる講義内容であった。
- ・グループワークは、支援者の立場からの苦労話が聞くことができ、支援の大変さが共感でき、良かった。

その他(不明)

- ・いろいろな立場の人の話(困難ケース、支援員の悩み)が聞けて勉強になった。
- ・虐待がどのような状態なのか、自分自身も考える機会になった。

今後のテーマ

- ・当事者の声を反映させたもの。
- ・実際の事例を使って、虐待について考えたい。
- ・制度の問題についても議論したい。